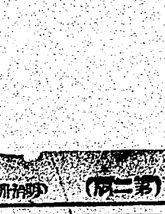
（第二版）　（昭和十一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十三年八月二十五日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万三千八百五號　（一）

臺灣昌新幸民夕刊

八月二十四日
發行兼編輯人　佐々木
臺北市榮町三丁目四番地
臺灣日日新報社



我等の石本部隊 粘牛嶺を奪取

一部は新屋戴を確保

【○○二十三日發同盟】鑛天山の嶺を突破後丘陵地帶の敵の堅陣を擊破しつつ西進中の石本部隊は二十三日午前粘牛嶺に拠つて頑強に抵抗する敵を擊破し之を奪取、又一部はその南方二粁の小部落新屋戴を確保した、瑞昌方面の敵は我が猛進を阻止すべく必死の抵抗を續けてゐる

冀東地區の敵 我軍の討伐で潰滅

支那側遊擊戰の實力は薄弱

【北京二十三日發同盟】冀東地區二帶の敵は我が擊滅作戰に依り同地區の主要交通路に於ける治安を回復するに至つた、この方面の敵は去る六月末頃から我が冀東防共作戰の實施から潛入し來つた第八路軍及び紅槍會の十數萬から成るもので、その兵力に就ては彼等は十數萬と誇稱し强要し赤化組織に努めつつあつたが我が討伐の結果に依れば敵兵力は意外に少く民衆武裝組織の痕跡は殆ど見られなかつた、この事實に依り支那側の呼稱する北支一帶の抗日軍の實體は全く第八路軍の統帥力及び遊擊戰の實力は非常に薄弱なものに過ぎず北支一帶の遊擊隊はその實體に反して極く小規模であり

漢口最前線へ ペンの戰士を派遣

内閣情報部が文壇を總動員

【東京二十四日發同盟】漢口大會戰を目指して陸へ内閣情報部では戰時的に文壇を動員して長期戰下の民衆指導に當らすことゝなり二十日午後内閣情報部會議室に文壇の人々を招いて懇談會を開催この間設置した、即ちその陸上文壇から二十人のペンの戰士を選んで陸軍報道部と協議の上漢口の最前線へ送るといふ内閣情報部の文壇動員計畫が發表され

出席の人々は皆つて賛成、ここに於ける漢口陷落を總つて文壇報國の觀點が從へられることとなつた、その人選は文壇側に一任されてゐるが候補者としては中村孤雁氏、長谷川伸、島見祐一、岸田國士、川端康成、武田麟太郎、杉山平助、林房雄、林芙美子、中河與一、戰爭與謝野晶子、阪本越郎、木村毅、阪本紫雨、小林秀雄などの諸氏が挙げられ同夜天々協力を求める通知狀が文壇各方面から發送された、かくて諸氏の許に集められ内閣情報部と協議の上二十五日夕までには文壇の大家數名を動員した參謀部隊のメンバーが決定、來月上旬、海軍一號に分れて宿望々戰場へ出發の豫定であるといふ、この選ばれた文壇部隊の數名が陸に海に空に活躍する文壇報國の一念起つて最前線下の銃後に花咲くものと各方面から期待されてゐる

我荒驚に粉砕された 漢口のソ聯飛行士達

士氣は全く沮喪

有樣だ 從つて所々行ふ爲初豫定の期待を持たず、從つて所々行ふ爲初豫定の期待を持たず、從つて所々行ふ爲初豫定の期待を持たず、

家庭と婦人

婦人を中心とした農村の問題（下）

人格技術のすべてを向上させよ

勞働科學研究所長　暉峻義等

ドイツでは髪を絨氈に

自給自足に邁進するドイツが、今度は人間の髪を原料として絨氈を製織することに成功した。絡べてのものが足らずその用途に困して、最大限に利用されてゐるドイツで、人間の髪のみが不用物として棄て去られてゐる訳がない。茲に着目した當局が、髪其物に關する研究の結果、髪其物に關する研究の結果、髪其物に關する研究の結果

江戸桃花陣 (122)

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

金亡者 (二)

日暮御門の御用金改鋳である。かような深慮ではあるが、生命には別条ないらしい。殘りの御用金は一人相撲な重荷だが、二人は大したことはない。とにかく、谷中の佛龍院に運れて行った、縛られつけられるやうなへマはしなかったつもりである——といふのである。島崎を飛ばして、三五郎は佛龍院に急げした。

御の館に和尚はうん〳〵唸りながら寝てゐた。側に御の館色の黒い襟巻と傳吉とがつくねんとして坐つてゐる。

「どうしたんだい。だらしねえと、うなりながらも、どうやら駕人つてゐるらしいので、小さい声で尋ひながら、三五郎は傳吉の側に坐つた。

「御用金をうまく納かかつたんで、安心しきつてやがいと気がゆるんだところに風のやうに一件けこんで来やがつたんだ。あつといふ間もねえ……」

ほそ〳〵と傳吉が話してゐると、

「三五郎どん、そちらはうまく行つたかい」

きにはつきりした声で和尚が言つたのだ。眠つてゐるとばかり思つたのだ。眠つてゐたところに、声を掛けられたので、三五郎は驚いた。それだけではなく、和尚はなほかう言ふのだ。

「いくらほど取つて来たのだ。二本半ほど」

「二百五十両？」

「あゝ」

「見せな、持つて来たなら」

三五郎はふところから出して和尚の枕辺に置いた。

「あるのう、光つてゐるのう、いい色だ、いい音だ」

和尚は金の方にわれ知らず向けて、和尚はぶる〳〵ふるへる手をさしのべて、一枚一枚愛撫し、そしてチンチンと打ち合はせては陶然とした眼を細めてその音に聞きほれてゐるのである。

それは恰に——さういふ言葉があるとすれば、さしづめそれに見えた。

自分自身の価値さを十分に知つてゐる三五郎ではあつたが、そうとうんで、安心しきつてやがいと気がゆるんだところに風のやうに一件けこんで来やがつたんだ。あつといふ間もねえ……」

ほそ〳〵と傳吉が話してゐると、

「三五郎どん、そちらはうまく行つたかい」

きにはつきりした声で和尚が言つたのだ。眠つてゐるとばかり思つたのだ。眠つてゐたところに、声を掛けられたので、三五郎は驚いた。それだけではなく、和尚はなほかう言ふのだ。

「いくらほど取つて来たのだ。二本半ほど」

「二百五十両？」

「あゝ」

「見せな、持つて来たなら」

三五郎はふところから出して和尚の枕辺に置いた。

「あるのう、光つてゐるのう、いい色だ、いい音だ」

和尚は金の方にわれ知らず向けて、和尚はぶる〳〵ふるへる手をさしのべて、一枚一枚愛撫し、そしてチンチンと打ち合はせては陶然とした眼を細めてその音に聞きほれてゐるのである。

それは恰に——さういふ言葉があるとすれば、さしづめそれに見えた。

自分自身の価値さを十分に知つてゐる三五郎ではあつたが、そう

とするほどの御用金の額さを感せずにをられなかつた。

そのうち、三五郎は、和尚が、その金を一枚づつ四つに分けてゐるのに気づいた。

「どうしたんだい、和尚さん」

「分けてゐるんだよ——これが三五郎どん、これが傳吉どん　これがわし、これが若い連中……」

そんなことを今しないでもいいぢやないか、話でも出たら大変らぢやないか、と言つてとめたが、和尚はきかなかつた。

「さうぢやない。さうぢやない。これが三五郎どん、これが傳吉どん……」

三五郎も、傳吉も、一種の覚悟に似たものを感じながらぢつと見つめてゐた。

四つに分けてしまふと、和尚は

「三五郎どん、傳吉も、御用金は四人で分け

（第二種）（印刷所ニ於テ毎年九月九日第二種郵便物認可）　昭和十三年八月一日（月曜日）　臺灣日日新報　本日夕刊共二十二頁

瑞昌の敵は浮足
餘すは僅か二粁

【九江二十四日發同盟】江岸に沿ひ進撃する○○部隊は二十三日夕刻には大傑山嶺黄の線に進出、瑞昌まで餘すところ僅かに二粁、既に指顧の間に迫り、今朝來一氣に攻撃前進を續けてゐる、瑞昌方面の敵は第二十、二十一、八十一師及び二、三衞師であるがわが精鋭の攻撃に既に浮足立ち瑞昌陷落は目睫に迫つた

わが有力部隊が
猛然行動を開始
山南關方面に向つて

【香港二十四日發同盟】中央通信の報道に據ればわが有力部隊は二十三日廬州西南方約四十粁の桃緊鎭から行動を起し西北方山南關に向つて猛然進撃を開始した、これがため六安霍山方面支那軍は緊張を示し始めた

肉城を完全占領

【香港二十四日發同盟】わが○○部隊は二十三日午前九時山西省北南端、崞縣を完全に占領、南門攻撃に當つた一部隊は二十二日午後五時半同縣を陷れて縣城内を掃蕩の上縣民の安堵を期したものがある

風陵渡方面に急追

【石家莊二十四日發同盟】風陵渡隊は二十二日午後五時半同縣を陷れて縣城内を掃蕩の上縣民の安堵を期したものがある

時浦州南方に於ける○○部隊は南方の山地一帯に蟠據する敵に攻撃を加へ二十三日早朝全部を掃蕩、二十三日午前十一時これを占領、二十三日早朝全部を掃蕩、二十三日午前十一時これを占領、二十三日早朝全部を掃蕩、二十三日午前十一時これを占領、

海の荒鷲群が
中南支で活動
艦隊報道部の發表

【上海二十四日發同盟】艦隊報道部は二十四日午前十時より海軍省に於て新聞班長石川信吾大佐より左の如き發表を爲した

一、中支方面

(イ)海軍航空隊は前後八回に亘つて廣九鐵道沿線の敵軍集結地點並に南昌飛行場を爆撃、多大の戰果を擧げた

(ロ)海軍航空隊は二十三日午前九時より十時半の間に亘つて南昌飛行場を爆撃、敵機多數を撃墜破壊した

二、南支方面

南支方面海軍航空隊は二十三日午前九時より十時半の間に亘つて南昌飛行場を爆撃、敵機多數を撃墜破壊した

日に八回も空襲

【上海二十四日發同盟】我が海軍航空隊は二十四日午前より前後八回に亘つて廣九鐵道沿線の敵軍集結地點並に南昌飛行場を爆撃、多大の戰果を擧げた

文化事業方面に於ける
目覺しい上海の復興
教育、衞生、交通とも業績を擧ぐ

【上海二十二日發同盟】絶對新政府上海市樹立方面では上海の復興と建設に邁進、着々業績を擧げてゐるが最近迄の文化施設方面の概略は大體左の通りである

教育　小學校は既に六十餘校が開校、生徒總數九千九百四十人及び二百二十人に逆してをりこの外江蘇省下のもの二十五校

衞生　腸窒扶斯流行の夏期に入るや腸防注射を施行、防疫に努めたる結果注射を受けに來た者約四十七万人を數へた、開校は四、腸窒扶所は十六ケ所

愈よ檢討に着手する
懸案の對支中央機關
軍部方面の意見一致

【東京二十四日發同盟】元老重臣會議における支那事變處理方針は十六日の閣議で大體の決定をみたので政府は右方針と即ち愈々懸案の對支中央機關の設置に入る事になつたが軍部方面では今次事變の目的の為に其の全機關の設置に付ては特に慎重なる考慮を拂つてゐるものとせず、内閣直屬の對支機關または對支委員會の如きものを設置して之に當る

日滿伊通商協定
寄託調書を作成
愈よ九月一日より實施

【新京二十四日發同盟】三月會議に於ける日滿伊通商協定に基き實施されてゐる日滿伊通商協定に關する寄託調書は愈よ九月一日より實施されることとなつた

和平機運の
釀成に努む
國府部内の和平派

【香港二十四日發同盟】最近國民參政會及び國府部内の和平派の動きに關し重慶側は左の如く發表した「國民政府は從來より日伊とも親善關係を結ぶべきであるとの主張を持つてゐるが日支事變勃發以來日伊兩國に對し再三再四に亘り日支兩國の和平斡旋を依頼したが兩國共に之を拒絶した」との噂は全く事實無根である

府評議會
けふ開かる
午前午後に亙つて

總督府評議會は例年の通り二十五日午前十時から府正廳に於て開會されるが、當日は午前、午後に亙り總督の諮問事項に關する審議が行はれ、夜は總督官邸に於て總督の晩餐會がある

産業報國會の
設置を勸奨
兩次官連名を以つて

【東京二十四日發同盟】陸軍省では今回一部新聞紙の對應をそつて發表機關を調整し從來下の統制機關の强化と共に新たに産業報國會の設置を勸奨することとなり、二十四日陸軍、商工兩次官の名を以つて通牒を發し、各道府縣經濟課長及び職業紹介所長宛に通達した

督府外事機構の
强化に就て
加藤外務部長談

總督府外局設置が實現して外務部になつたについて加藤外務部代外務長官は二十四日左の如く語つた

年來の懸案でありました外事機構が遂に本日を以て總督府に於ける外務部と相俟り總督府に於ける外事機構の强化を見ましたことは誠に御同慶に堪へない所であります

顧みるに今度の外務部の出來ます迄には四十有餘年の歴史と數多の變遷がありましたが之を述べ摘まんで申しますと明治二十八年五月二十一日台湾總督府假條例の制定に依りまして總督府民政局内外務部が設置されたのに始まつて居ります、即ち明治二十八年五月十日樺山總督の任命と同時に台湾統治に於ける施政の大綱を確定して居られるのであります、當時は外國との關係に付ては特に慎重を期して居つたものの如く右條令の中に次のやうな規定がしてあります

「外務に關する事項は内閣總理大臣の指揮を受けて外務大臣之を掌る」

其の後明治二十九年總督府外事課同二十年民政局外事課、同四十二年より官房外事課として發展十有餘年間組織したのでありますが次迄十三年に至り其の機能が益々擴大發展せんとするに當り從來の組織では到底之を以て適當に處理することは出來ないと云ふので大正十三年四月勅令第百二十八號を以て官房外事課を廢して外事部を設置し、更に昭和二年勅令第百二十八號を以て外事部を廢して外務

臺灣に於ける勞務對策の座談會

臺北公會堂に於て 本社主催 (五)

◇中島通一氏（つゞき）

第二は我々は教育の人間ですから地方の本當にほしい事情は何りませんが、隣の部屋にほしい事情は何でもよい人が隣のウワ〳〵して居ります、之等の人々は親生は別でも親等を持つて居らない様な人々はこの非常時に際して我々の協力的な精神に於かなければならぬと思ひます、勞働爭議調停調整法の中に於ても勞働爭議が起つた場合には勞働爭議調停委員會が設けられ、其の委員會に於ては公益代表者、勞働者代表者、使用者代表者の三人が出て調停に當ることになつて居ります、其の場合に於ても勞働者代表者は勞働者の中から出

小學校卒業者が中女學校卒業者の成功の登龍門

自宅に居て成功への學校式確實教授

日本無比（最短距離）最新教授

●高等文官・判任文官・辯護士・警察官・鐵道員・滿洲國司法官・會計官・執行官・律師・著士養成
●中學校・商業學校・工業學校卒業資格獲得指導

本學ノ學則ハ大ノ學的大組織ノ最新教授ノ下ニ日本無比ノ最短距離ニ於テ最優秀教師陣ヲ以テ自宅ニ居ナガラ成功ノ登龍門ヲ開放セリ

我國最大ノ綜合大學的大組織

テレパルト（Télepakult）トルカパレテ

帝國法政大學

長距離學生（募集）

●我國唯一ノ綜合大學的組織ノ最新教授
▼自宅ニ居ナガラ長距離最新式優秀教授

テレパルト（Télepakult）トハ、長距離通信新式通信教授ノ意デアッテ、即チ地方自宅ニ居ナガラ學校ノ教室ニ於ケルト全ク同樣ニ學力ノ練磨ヲ期スルコトヲ得、從來ノ通信教授ト大イニ其ノ趣ヲ異ニスル點ニ於テ學員的新學期ノ教授法デアル。即チ學校